

県央地域初！胃がん内視鏡検診を開始します

－ 50 歳から 68 歳までを対象に自己負担 1,000 円で受診可能です－

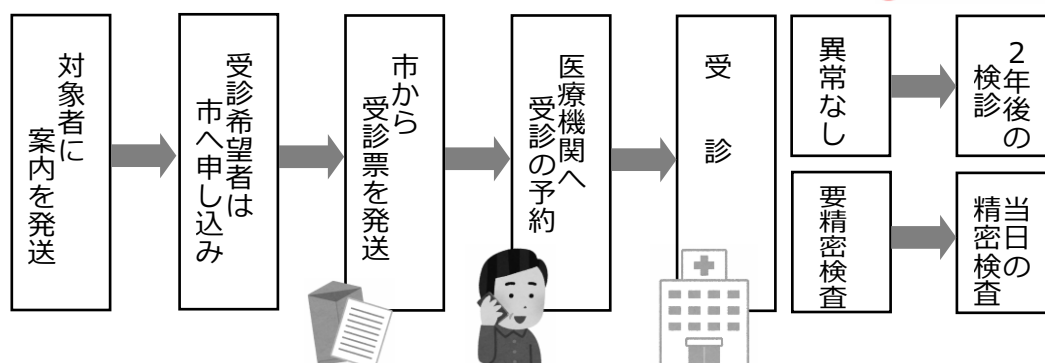
新潟県は、胃がんによる死亡率が全国と比べて高い状況にあり、早期発見・早期治療が課題となっています。そこで、燕市は、これまでの「胃部エックス線（バリウム）検診」に加えて、検査の精度がより高い「胃がん内視鏡検診（胃カメラ）」を新潟県立吉田病院との連携により 6 月から開始します。胃がん検診の選択肢を増やし、検診の受診率を高めることで、胃がんによる死亡率の減少を目指します。

【胃がん内視鏡検診の概要】

1. 対象者：50 歳から 68 歳までの偶数年齢の燕市民（令和 7 年度末時点）
対象者には個別に案内を発送します。
2. 受診の申込：5 月 1 日（木）から市ホームページの申込フォーム
または電話（0256-77-8182）にて
3. 検診開始時期：6 月から
4. 実施医療機関：新潟県立吉田病院（燕市吉田大保町 32-14）
5. 個人負担金：1,000 円（医療機関の窓口で支払い）
6. 受診間隔：2 年に 1 回
7. 受診の流れ（イメージ）



▲市ホームページ



胃がん内視鏡検診とは？

口や鼻から内視鏡（先端に小型カメラを内蔵した細長い管状の医療機器）を用いて、咽頭から食道、胃、十二指腸の粘膜を医師の目で直接、観察を行う検査方法です。また組織を採取して病理検査を行うことができるため、さまざまな疾患の確定診断に役立ちます。



本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 健康づくり課：土田・柳原
電話：0256-77-8182（直通）